

宇部市産業実態等アンケート

＜事業所を主たる販売先とする企業様向け＞

調査ご協力のお願い

本市では、長期的な視点に立ち安心・安定して働くことのできる強い産業と魅力的な雇用の場を創出するため、「（仮称）宇部市産業振興計画」を令和3年度に策定する予定としております。

この計画の策定にあたっては、事業者様が抱える課題や今後の展望等を踏まえた上で、より実効性の高いものにしたいと考えており、その基礎資料として、本アンケート調査を実施することと致しました。

ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、本市の未来を豊かにする産業力の強化に取り組んでいくための重要なアンケートとなりますので、ご理解とご協力をぜひともお願いいたします。

※先般、市からの依頼で、ホームページ上で類似したアンケートをさせて頂いており、一部類似した質問もありますが、趣旨をご理解の上、ご回答いただけますと幸いです。

令和3年7月

宇部市 商工水産部 商工振興課

ご記入にあたってのお願い

- 1 貴社の経営実態等を理解されている方がご記入ください。
- 2 ご記入に際しては「令和3年7月1日」を基準日としてください。
- 3 回答は、あてはまる番号を選び、その番号を○印で囲んでください。
- 4 「1つだけ」「3つまで」など回答が限られている質問では、貴社がもっとも良くあてはまるとお考えになる回答を指定の数以内で選び、○印をつけてください。
- 5 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内に、なるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 6 各設問について、回答可能な項目についてご回答ください。
- 7 ご記入後、記入もれなどがないか、ご面倒でももう一度お確かめください。

●お問い合わせ

宇部市 商工水産部 商工振興課

TEL: 0836-34-8355（月～金：8:30～17:15）※土日祝日は除く

※支店・営業所等の場合は、本調査票が届いた市内の支店・営業所等におけるデータを可能な範囲にご記入ください。

問 1. 貴社のことについておたずねします。

(1) 可能であれば、事業所名をご記入ください。

(ふりがな) 事業所名	
----------------	--

(2) 経営形態 (○は1つだけ)

1. 単独事業所	3. 支社・支店	5. 工場
2. 本社	4. 営業所	6. その他 ()

(3) 業種 (○は主なもの1つだけ)

1. 建設業	7. 学術研究
2. 製造業	8. 専門・技術サービス業
3. 電気・ガス・熱供給・水道業	9. 不動産業, 物品賃貸業
4. 情報通信業	10. その他
5. 卸売業	(具体的に:)
6. 運輸業	

(4) 所属している団体 (○はいくつでも)

1. 宇部商工会議所	5. その他関連団体・組合
2. くすのき商工会	(名称:)
3. 法人会	
4. 青色申告会	

(5) 資本金

	万円
--	----

(6) 従業者の数 (あなた自身も含めて) と雇用形態の内訳 (数字をご記入ください。)

従業員数	合計	人	⇒	内訳	正社員	人
	(うち家族は	人)			パート・アルバイト・派遣	人

(7) 昨年度一年間での採用者数 (数字をご記入ください。)

採用者数	合計	人	⇒	内訳	男性	人 (うち新卒は	人)
	(うち新卒は	人)			女性	人 (うち新卒は	人)

(8) 経営者の年代 (○は1つだけ) ※経営者とは実際に経営にたずさわっている人。支店等の場合は店長。

1. 30歳代以下 2. 40歳代 3. 50歳代 4. 60歳代 5. 70歳代 6. 80歳代以上

(9) 後継者について (○は1つだけ)

1. 決まっている 3. 困っている
2. まだ決める必要がない 4. 廃業予定である

(10) 土地, 建物の所有形態 (○は1つだけ)

1. 土地, 建物自己所有 2. 借地, 建物自己所有 3. 借地, 借家 4. ビルテナント

(11) 事業所の敷地面積 (数字をご記入ください。)

m²

問2. 貴社の経営状況と取引先についておたずねします。

(1) 昨年度の年間売上高について、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。

1. 売上なし 6. 1億～ 3億円未満
2. 1000万円未満 7. 3億～ 5億円未満
3. 1000万～ 3000万円未満 8. 5億～10億円未満
4. 3000万～ 5000万円未満 9. 10億円以上
5. 5000万～ 1億円未満

(2) 3年前と比較して昨年度の売上高の増減について、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。

1. 10%以上増加 5. 3～9%減少
2. 3～9%増加 6. 10%以上減少
3. 微増 (0～3%未満) 7. 変化なし
4. 微減 (－3～0%未満)

(3) 3年前と比較して昨年度の営業利益の増減について、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。

1. 10%以上増加 5. 3～9%減少
2. 3～9%増加 6. 10%以上減少
3. 微増 (0～3%未満) 7. 変化なし
4. 微減 (－3～0%未満)

(4) 今後3年間を考えたとき、貴社の景況はどのように推移していくと予想しますか (○は各指標について1つだけ)。

	選択肢
業 況	1. 良くなる 2. やや良くなる 3. 変わらない 4. やや悪くなる 5. 悪くなる
売 上 高	1. 増加する 2. やや増加する 3. 変わらない 4. やや減少する 5. 減少する
営業利益	1. 増加する 2. やや増加する 3. 変わらない 4. やや減少する 5. 減少する

(5) 貴社の主な取引先はどちらにありますか (○は2つまで)。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 宇部市内 |
| 2. 宇部市を除く山口県内 |
| 3. 上記以外の中国圏 (広島県、岡山県、島根県、鳥取県) |
| 4. 近畿圏 (大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県) |
| 5. 上記以外の国内 |
| 6. 海外 |

(6) 経営の現状について満足されていますか (○は1つだけ)。

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| 1. 満足している | 3. どちらともいえない | 4. やや不満である |
| 2. まあ満足している | | 5. 不満である |

問3. 立地環境についておたずねします。

(1) 創業は宇部市内ですか (○は1つだけ)。

1. 宇部市内で創業

2. 宇部市外で創業

(1-1) [(1)で「1」と回答した方] いつ頃から市内に立地していますか (○は1つだけ)。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 昭和30年代以前 | 5. 平成10年～19年 |
| 2. 昭和40年代 | 6. 平成20年代 |
| 3. 昭和50・60年代 | 7. 令和 |
| 4. 平成元年～9年 | 8. その他 () |

(2) 宇部市に立地するメリットはどのようなものですか (○は3つまで)。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 交通の便が良く地理的にも便利 | 11. 取引先から近い |
| 2. 事業所が集積し他社との連携等がしやすい | 12. 人件費や地代等が安い |
| 3. 企業や人口密集等により大規模市場が至近 | 13. 行政機関の支援等が充実している |
| 4. 優秀な人材が確保しやすい | 14. 重要な情報が入手しやすい |
| 5. 様々な可能性・多様性のある市場構造 | 15. 街並みが整備されていて魅力的 |
| 6. 先端的な技術や情報に接する機会が多い | 16. 自宅等が近い |
| 7. 宇部市に立地することによる企業のイメージアップ | 17. 自然災害が少ない |
| 8. 刺激が多く活力がある | 18. その他 () |
| 9. 資金調達に有利 | 19. 特にな |
| 10. グローバルな事業展開が可能 | |

(3) 宇部市に立地するデメリットはどのようなものですか (○は3つまで)。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 建物・施設の賃貸借の費用が高い | 12. 顧客の固定化が難しい |
| 2. 人件費が高い | 13. 通勤時間が長く、コストも高い |
| 3. 人材が集まらない | 14. 地域住民等との接点も少なく地縁性が低い |
| 4. 企業間の連携等がしづらい | 15. 地元金融機関からの資金調達が難しい |
| 5. 産業集積が不十分 | 16. 行政機関の支援等が充実していない |
| 6. 交通環境が悪く事業に支障がある | 17. 重要な情報が入手しにくい |
| 7. 環境の変化が激しく、対応が難しい | 18. 街並みが整備されてなく魅力に乏しい |
| 8. マーケットが多様化・細分化 | 19. その他 () |
| 9. 競争相手が多く、競争が激しい | 20. 特にな |
| 10. 顧客・取引先から遠い | |
| 11. 顧客の要望・ニーズが多様で高度 | |

(4) 貴社では市外への事業所移転の可能性はありますか(○は1つだけ)。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 可能性はない | 3. ある程度具体的に移転を検討している |
| 2. 可能性はあるが具体的に検討していない | 4. かなり具体的に検討している |

問4. 採用状況や雇用環境についておたずねします。

(1) 貴社の従業員の採用状況はいかがですか(○は1つだけ)。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 順調である | 3. 余り順調でない | 5. 採用していない |
| 2. まあ順調である | 4. 順調でない | |

(1-1) [(1)で3か4と回答した方] どのような対応を取っていますか(○はいくつでも)。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 派遣労働者の受け入れ | 5. 業務の見直し |
| 2. アルバイト・パート社員の採用 | 6. その他 () |
| 3. 嘱託社員の採用 | |
| 4. 人材採用支援会社等への相談 | 7. 特に何もしていない |

(2) 貴社では、高齢者雇用のためにどのような対策を講じていますか(○はいくつでも)。

- | | |
|---|--|
| 1. 定年年齢の引き上げを行った | 3. 再雇用制度(定年年齢に達した者をいったん退職させた後、再び雇用する制度)を導入している |
| 2. 勤務延長制度を導入している(定年年齢に達した者を退職させることなく引き続き一定期間雇用) | 4. その他 () |
| | 5. 特に講じていない |

(3) 貴社では、障害者雇用のためにどのような対策を講じていますか(○はいくつでも)。

- | | |
|--|----------------------|
| 1. 短時間勤務など勤務時間への配慮 | 7. 職場適応援助者※の活用 |
| 2. 通院・服薬管理など医療上の配慮 | 8. 相談窓口の拡充 |
| 3. 教育、研修の充実 | 9. 各種助成金の活用 |
| 4. 就業環境(ハード面含む)の改善 | 10. 外部関係機関と連携支援体制の確立 |
| 5. OJT(日常の業務に就きながら行う職場内訓練)、トライアル雇用(短期、試行的な雇用)の拡充 | 11. 他の従業員の意識啓発 |
| 6. 業務内容への配慮 | 12. その他 () |
| | 13. 特に講じていない |

※ 別名ジョブコーチ、障害特性を踏まえた直接的で専門的な支援を行う者のこと。

(4) 貴社では、女性の活躍推進のためにどのような対策を講じていますか(○はいくつでも)。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. キャリアアップ教育 | 7. 教育、研修の充実 |
| 2. 短時間勤務などの勤務時間への配慮 | 8. 就業環境(ハード面含む)の改善 |
| 3. テレワーク※1の導入 | 9. 他の従業員の意識啓発 |
| 4. イクメン・イクボス※2の養成 | 10. その他 () |
| 5. 再雇用制度の導入 | 11. 特に整備していない |
| 6. 業務内容への配慮 | |

※1 テレワークとは、IT等の情報通信技術を活用することで時間・場所の制約を受けずに柔軟に働くことのできる就労形態のことを意味します。

※2 イクメンとは「子育てに積極的に関わる男性のこと」を、イクボスとは「男性の従業員や部下の育児参加に理解のある経営者や上司のこと」を意味します。

(5) 若年者（35歳未満）の採用に関する現在の貴社の状況はいかがですか（○は1つだけ）。

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. ニーズに相応しい人材が採用できている | 3. 採用ニーズはあるものの、計画したレベルの人材を確保することが難しい |
| 2. 採用ニーズはあるものの、予定人数（計画値）を確保することが難しい | 4. 採用ニーズはない |

(6) 貴社では今後、どのような人材を採用したいと考えますか（○はいくつでも）。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 長期間働いてくれる人材 | 6. 社会人マナーが身に付いている人材 |
| 2. 語学スキルが高い人材 | 7. その他（ ） |
| 3. 専門的な技術を有する人材 | 8. 特になし |
| 4. 財務・会計に強い人材 | |
| 5. 営業力のある人材 | |

(7) 貴社はワーク・ライフ・バランス※が進んでいると思いますか（○は1つだけ）。

※ ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活の調和。様々な状況に応じて多様な働き方や生き方を選択できること。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 進んでいる | 3. あまり進んでいない |
| 2. ある程度進んでいる | 4. 進んでいない |

(7-1) [(7) で「3」か「4」と回答した方に] その理由は何ですか（○はいくつでも）。

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 平均勤続年数が短い | 9. 企業の旧態依然の慣習や企業風土 |
| 2. スキル・能力不足 | 10. 長時間労働の慢性化 |
| 3. 女性社員の意識が低い | 11. 多様な働き方のメニューを用意していない |
| 4. 男性社員の意識が低い | 12. 育児・介護支援制度が不十分である |
| 5. 性別役割分業意識が強い | 13. 仕事と育児・介護の両立のための個人的な努力が足りない |
| 6. モデルとなる社員がいない | 14. その他（具体的 ） |
| 7. 経営陣の意識が低い | |
| 8. 管理職の意識が低い | |

(8) ワーク・ライフ・バランスに取り組む上でどのような課題がありますか（○はいくつでも）。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 働き方についての社会の意識変化 | 7. 多様な働き方メニューの充実 |
| 2. 男性正社員の仕事と生活スタイルの変化 | 8. 託児施設の整備など費用負担 |
| 3. 会社同士の競争環境の改善 | 9. 社会保障制度等の充実 |
| 4. 会社の経営者等の意識改革 | 10. 取組み企業に対する各種支援 |
| 5. 会社の労働条件の改善 | 11. その他（ ） |
| 6. 長時間労働の改善 | 12. 特に思い当たらない |

問5. 資金調達等についておたずねします。

(1) 資金調達の際の調達先は、どのような機関ですか（○はいくつでも）。

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 都市銀行 | 5. ベンチャーキャピタル※1 |
| 2. 地方銀行 | 6. クラウドファンディング※2 |
| 3. 信金・信組 | 7. その他（ ） |
| 4. 政府系金融機関 | 8. 特になし |

※1主に高い成長率を有する未上場企業に対して、ハイリターンを狙ったアグレッシブな投資を行う投資会社等のこと。

※2不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うこと。

(2) 主な資金調達先との関係は良好ですか (○は1つだけ)。

- | | | | |
|----------|------------|-------------|----------|
| 1. 良好である | 2. まあ良好である | 3. あまり良好でない | 4. 良好でない |
|----------|------------|-------------|----------|

(3) 制度融資や補助金など、公的機関が提供する資金調達の支援制度を活用されたことがありますか (○は1つだけ)。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 活用したことがある | 2. 活用したことはない |
|--------------|--------------|

(4) [(3) で「1」と回答した方] その理由は何ですか (○は1つだけ)。

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 金利が低い | 3. 金融機関に勧められた |
| 2. 借入しやすい | 4. 特に理由はない |

(5) [(3) で「2」と回答した方] その理由は何ですか (○は1つだけ)。

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| 1. 制度を知らなかった | 3. 保証料が高い | 5. 特に理由はない |
| 2. 手続きが煩雑 | 4. 金融機関に断られた | |

問6. 事業活動における課題と方向性等についておたずねします。

(1) 現在、経営上抱えている課題はどのようなことですか (○は5つまで)。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 一般従業員の確保 | 16. 借入金の返済に苦慮 |
| 2. 特定専門技術を有する人材不足 | 17. 投資家との出会いの場不足 |
| 3. 人材育成に関する組織的制度がない | 18. 金融機関と十分な交渉ができない |
| 4. 総費用に占める人件費割合の上昇 | 19. 事業所等を新設・拡張・改築できない |
| 5. 後継者の確保 | 20. 駐車場が確保できない |
| 6. 従業員の高齢化 | 21. 地価、地代、賃料が高い |
| 7. 受注量・取引量・売上高の減少 | 22. 住宅開発等により事業継続が困難 |
| 8. 競合他社等との競争環境の激化 | 23. 大規模開発による周辺環境の変化 |
| 9. 高度化する顧客対応への十分な対応 | 24. 技術・市場動向等に対する情報不足 |
| 10. 顧客ニーズがつかめない | 25. 産業支援施策や制度に関する情報不足 |
| 11. 顧客や取引先に生じた変化の影響 | 26. 困ったときの相談相手不足・方法不明 |
| 12. 為替の影響 | 27. その他 |
| 13. 新規事業のための資金調達 | () |
| 14. 原材料高騰による原価率の上昇 | 28. 特にない |
| 15. 運転資金の確保 | |

(2) 今後5年程度を展望して重点的に取り組みたいと考えていることは何ですか(○は5つまで)。

1. 従業員の確保・育成	21. 取引先企業との協力・連携の推進
2. 経営幹部人材の確保・育成	22. 他企業との協力・戦略的連携の推進
3. 専門人材の確保・育成	23. 新製品・新技術(サービスを含む)の開発
4. 後継者の育成	24. 情報化等推進による業務の合理化等
5. 働き方改革の整備	25. 規模縮小や業務等のリストラ
6. 組織の改編	26. 下請け企業からの脱却
7. 従業員満足度の向上	27. 品質・接客技術等の向上
8. 施設や設備のリニューアル	28. 顧客満足度の向上
9. 事業所等の規模拡大	29. 知的財産戦略と法務対策
10. 事業所等の移転	30. 知的資産の形成
11. 販路開拓・拡大	31. 資金調達方法の多様化
12. 営業力の強化	32. コンプライアンスの強化
13. キャッシュフローの改善	33. 大学等研究開発機関との連携
14. グローバル化への対応	34. 地域貢献や社会貢献
15. 新分野・新事業への進出	35. 現状維持
16. 利益率の向上	36. 事業の譲渡や買収などのM&A
17. 既存製品の高付加価値化	37. 業種転換
18. 自社ブランドの育成・強化	38. 廃業・休業
19. 製品・サービスの多様化	39. その他 ()
20. 製品・サービスの専門化	40. 特になし

問7. 個別の事業課題等についておたずねします。

(1) 下記の各事業課題について、それぞれ現在の取組経験(1)-1、今後の取組意向(1)-2をお答えください。

	(1)-1 現在の取組経験			(1)-2 今後の取組意向		
	している	していない		高い	普通	高くない
例) 事業課題等	①	2	→	1	②	3
1) ICTを活用した販路開拓	1	2	→	1	2	3
2) ICTを活用した業務改善・改革	1	2	→	1	2	3
3) ICTを活用した宣伝PR	1	2	→	1	2	3
4) 産学連携による研究開発	1	2	→	1	2	3
5) 産学連携による事業化推進	1	2	→	1	2	3
6) 観光関連事業・ビジネスの推進	1	2	→	1	2	3
7) 地域資源を活用した事業・ビジネス展開	1	2	→	1	2	3
8) 地域内の同業種企業による連携	1	2	→	1	2	3
9) 地域内外の異業種企業による連携	1	2	→	1	2	3

10) 若手従業員向け人材育成・能力開発	1	2	→	1	2	3
11) 中堅従業員向け人材育成・能力開発	1	2	→	1	2	3
12) カーボンゼロ・再エネ活動等の推進	1	2	→	1	2	3
13) 事業承継の推進	1	2	→	1	2	3
14) 知的財産の創造・保護・活用	1	2	→	1	2	3
15) 商品等のデザイン力の向上	1	2	→	1	2	3
16) ロボット、IoT、AIの活用	1	2	→	1	2	3
17) 海外展開	1	2	→	1	2	3

※「IoT」とは、モノのインターネット（Internet of Things）の略語で、様々な「モノ（物）」が相互にインターネットに接続されること（モノがインターネットのように繋がる）の仕組みを、「AI」とは、人工的にコンピュータ上で人間と同様の知能を実現させようという一連の基礎技術をいいます。

(2) (1) で回答いただいた店舗・事業所の取り組みについて、以下の事業課題では具体的にどのような取り組みをしていますか。自由にお書きください。

(事業課題)	
①ICT・デジタル等の取り組み	
②同業種や異業種による連携	
③人材育成	
④環境・エネルギー	
⑤観光振興	
⑥海外展開	

(3) 今後、市等に対してどのような支援を望みますか（○は3つまで）。

1. 人材育成支援	10. IT関連の支援
2. 雇用促進	11. 事業スペース対策
3. 大学や行政等との交流・連携支援	12. 宣伝PR支援
4. 技術・製品開発支援	13. ワーク・ライフ・バランス推進支援
5. 市場開拓・マーケティング支援	14. 企業誘致の促進
6. 融資等資金対策	15. 海外展開の支援
7. 経営相談	16. その他
8. 創業支援	()
9. 従業員の福利厚生支援	17. 特にない

問8. 宇部市の産業振興に関するご意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

